

The Shinro Journal とは・・・松江東高校進路指導部が発刊する情報紙です。主に進路に関する情報提供や、各種行事や講座の案内・報告を行っていきます。

■大学入学共通テストを終えて

今年の特徴としては、昨年の大幅難化から一転、今年は900点満点の平均得点が昨年と比べて、文系で約24点、理系で約38点の大幅アップとなりました。さらに、生物が難化し得点調整が行われました。下の表が過去3年の平均点ですが、今年分はまだ確定値ではありません。

教科	教科	満点	2021年	2022年	2023年	差
	国語	200	117.5	110.3	105.2	-5
数 学	数学ⅠA	100	57.7	38.0	58.1	+20
	数学ⅡB	100	59.3	34.1	64.9	+31
英 語	リーディング	100	58.8	61.8	55.1	-7
	リスニング	100	56.2	59.5	63.0	
地 歴	世界史B	100	63.5	65.8	60.1	-6
	日本史B	100	64.3	52.8	61.1	+8
	地理B	100	60.1	59.0	62.2	
公民	現代社会	100	58.4	60.8	61.6	
理 科 ①	化学基礎	100	24.7	27.7	30.6	
	生物基礎	100	29.2	23.9	25.7	
理 科 ②	物理	100	62.4	60.7	64.5	
	化学	100	57.6	47.6	50.0	
	生物	100	72.6	48.8	40.6	-8
5教科8科目文系		900	563	507	530	+23
5教科7科目理系		900	582	510	547	+37
				中間集計		

特に、これから受験する1, 2年生に知っておいて欲しいことは、

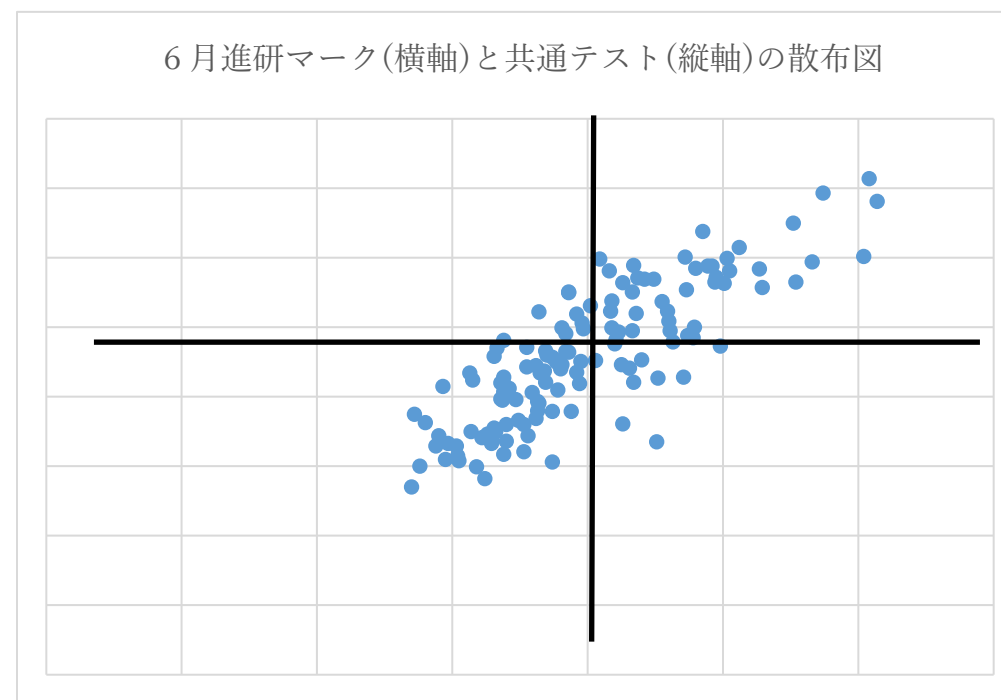
長い文章を読み取り、それを吟味・分析する力が問われる

ということです。

3年目となる今年の共通テストは全体的な出題傾向は昨年から大きな変化はなく、多くの教科で文章や図表、資料など複数のテキストを読み取り解答する出題が目立ちました。また、過去2年出題されてきた日常生活や学習過程を想定した場面設定も多く見られました。「数ⅠA」ではバスケットボールのシュートを題材にボールの放物運動について考察する問題が出題されたほか、「世界史B」では先生と生徒の会話文を利用した問題が昨年から倍増しました。問題文や素材となる資料が増えたことで、多くの科目で問題ページ数が増えています。「思考力・判断力・表現力」や理解の質を問うだけでなく、限られた時間内で多くの情報を処理する力も評価しようとする傾向は今後も続くと考えられます。

では皆さんは、これから何を心掛けていけばいいのでしょうか？以下に散布図を載せてみました(太線は校内平均点のライン)。

6月進研マークは、受験者数43万人(共通テストは51万人)ですので、本番を占う非常に重要なマーク模試で、実質的に受験のスタートとなる模試です。1年生で学習した数学Ⅰ「データの分析」を思い出してみてください。相関係数0.83はかなり高い値で、「強い正の相関がある」と言えますね。



相関係数 0.83

3学期は、次学年の0学期

1月進研も終わり、しばらく大きな実力テストはありませんが、次の6月までいかに過ごすかが重要になります。よく2年までは国英数中心でと言われますが、理社は3年になるとものすごい勢いで範囲が増えていきます。今のうちに2年の既習範囲を復習しておかないと全く追いつかなくなります。「部活を引退してから頑張ればいいや」と思っている人、それでは間に合わないかもしれませんよ。上の散布図をしっかり覚えておいてください。

特別寄稿 34期卒業生 梶原美紀子

こんにちは。梶原美紀子と申します。2019年に松江東高校を卒業し、現在東京の私立大学に通っている4年生です。大学では、社会学専攻を取り、LGBTQ+ やジェンダー学について学んでいます。また、学外活動では、東京のプロバスケットボールチームの専属チアリーダーとして活動していました。そして、大学3年生秋から4年夏にかけて行った就職活動が終わり、現在は卒業論文を執筆しながら最後の学生生活を楽しんでいます。

突然ですが、みなさんは、進路選択をする上で、将来の夢や目標から逆算して決めていますか？ 将来の夢や目標を持っていて、その夢を叶えるために頑張っている方がいたら、それは本当にすごいことだと思います。どうか一つひとつに最善を尽くして、夢を叶えてほしいと思います。

一方で、やりたいことが決まっておらず、進路や文理選択に迷っている人も沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。今回は、どのように将来のやりたいことを決めていけばいいかを私なりにお話ししていこうと思います。

まず初めは、『自己分析を行う』ことです。いきなり将来なりたい職業を考えるのは難しいですよ。職業ではなくても、どこで、どんな生活をする大人になりたいか、自分は何に興味があるのか、考えてみましょう。今は、インターネットに高校生向けの自己分析方法が多く掲載されているので、そういうものを参考にしてもいいと思います。私自身も、高校3年生まで特にやりたいことが決まっていなかったんです。ですが、自己分析をしていく中で、テレビ（番組や芸能人など）がとりわけ好きなことがわかりました。私の場合、テレビが自分の生活の一部になっていたあまり、好きなものとして意識していませんでしたが、先生や友人からの助言で気付かされました。自己分析に困ったときには、第三者に話を聞いてみるのもいいと思います◎さらに、私は「好きなことで働きたい」という思いがあったので、必然的にテレビ業界に興味が湧いていきました。高校生の時は、目の前の課題やテスト、部活や課外活動でいっぱいいっぱいかもしれませんが、寝る前に少しでも自分と向き合う時間を作ってみてほしいと思います。

そして次に、やりたいことを探す上で意識してほしいポイントがあります。それは、『自分で自分の可能性を狭めない』ということです。3年生の春、担任の先生にテレビ業界に興味があると相談した際、「東京に出て最新の物事に触れられる環境がいいと思う」という提案を受けました。それまで、東京への憧れはあっても、不安や勇気の無さから無理だと勝手に決めつけていました。ですが、「自分で自分の可能性を狭めないで」という先生の言葉にハッとさせられ、背中を押してもらいました。皆さんも小さな憧れや興味などはあっても、無意識に自分でブレーキをかけてしまっているかもしれません。初めから無理だと決めつけて選択肢を狭めるのではなく、どうすれば出来るかという視点で考えてみてほしいです。

実際に上京してから、大学と並行して、テレビの裏側について学べるスクールに通ったり、バスケットチームのチアリーダーとしてエンターテイメントに触れたり...東京でしかできない多くの貴重な経験をしました。そして、長い就職活動の末、来年の春から芸能事務所でマネージャーとして働くことになりました。まさか自分が本当にテレビ業界に携わることができるなんて...高校生

でやりたいことを見つけられず適当に進路先を選んでいたら恐らくこんな結果にはなっていないと思います。東京が良いということではなく、自分の目標に向けて何が最善の選択なのかあらゆる可能性を探ってみてほしいということです。皆さんは高校生ですから、これからどんなことにも挑戦できます。是非、将来を想像して楽しくなるような夢や目標を見つけてください！

最後に、ここまで読んでいただきありがとうございました。大変なことや悩みもあるかもしれませんが、2度と訪れない高校生活を一生懸命楽しんでください！



↑大学での写真



↑学外活動チアリーダーの写真



↑高校生～大学で使っていた自己分析ノート

